

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科

皮膚科学講座

研究責任者： 六戸 大樹

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 皮膚悪性腫瘍に対する Quad Shot の有益性の評価

研究の目的

皮膚悪性腫瘍の患者さんは近年増加傾向にあり、高齢で複数の基礎疾患を有する患者も増えてきています。そのような患者さんに対しては、ガイドラインに記載されているような手術、化学療法、長期間にわたる放射線治療などは実施困難な場合があります。しかし、無治療のままでは皮膚腫瘍からの出血、におい、疼痛、顔面の変形など、生活の質（QOL）を大きく落とす原因となり、患者さんご本人のみならず、介護にあたるご家族、入所施設等のスタッフにとっても大きなデメリットとなります。そのような患者さんに対して、短期間に集中的に治療を行う緩和的放射線治療（Quad Shot）の効果が報告されています。本研究の目的は、当院で Quad Shot 治療を行った皮膚悪性腫瘍症例における腫瘍の特徴、腫瘍縮小効果、症状の緩和効果、有害事象を抽出し、今後の診療に有益な情報を得ることです。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2027年3月31日

対象となる方 2018年4月1日～2025年12月31日の期間に、当院で皮膚悪性腫瘍に対して Quad Shot 治療を行った方。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、以下の項目を抽出し、標記研究のために利用します。

- 1) 臨床所見：年齢、性別、基礎疾患、腫瘍の種類、臨床病期、腫瘍の大きさと深達度、腫瘍の状態（出血、におい、疼痛）、生存期間
- 2) 治療内容：Quad Shot 実施回数、照射部位
- 3) 有害事象の内容と重症度（CTCAE v5.0 によりグレードを評価）
- 4) 治療効果：腫瘍縮小率、症状緩和の有無
- 5) 予後（全生存期間 OS、無増悪生存期間 PFS）

外部への試料・情報の提供

該当しません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	皮膚科学講座 六戸 大樹 連絡先電話番号 0172-39-5087
--------------	-----------------------------------